

1.	③	11.	①	21.	①	31.	②	41.	④
2.	④	12.	④	22.	②	32.	④	42.	②
3.	①	13.	①	23.	③	33.	③	43.	③
4.	②	14.	②	24.	③	34.	③	44.	①
5.	②	15.	④	25.	②	35.	③	45.	④
6.	①	16.	①	26.	③	36.	②	46.	②
7.	④	17.	①	27.	①	37.	②	47.	②
8.	①	18.	②	28.	④	38.	④	48.	①
9.	②	19.	③	29.	④	39.	④	49.	①
10.	0②	20.	①	30.	③	40.	②	50.	②

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「韓国」です。South Korea は、大韓民国の英語での正式な通称です。South が「南」を意味します。Seoul is the capital of South Korea. (ソウルは韓国の首都です) のように使います。①「北朝鮮」は North Korea、②「中国」は China、④「台湾」は Taiwan がそれぞれ対応する英語名です。

◆補足：「韓国の」、「韓国人」、「韓国語」は形容詞・名詞の Korean を使います。I love Korean dramas. (私は韓国ドラマが大好きです)。South (南) の反対は North (北) なので、North Korea (北朝鮮) とセットで覚えると良いでしょう。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「(服など) を脱ぐ、離陸する」です。take off は二つの重要な意味を持つ熟語です。一つは put on の反対で、服や靴などを「脱ぐ」こと。もう一つは、飛行機が地面を離れて空に飛び立つ「離陸する」ことです。It's hot, so I took off my sweater. (暑かったのでセーターを脱いだ)。The plane took off on time. (飛行機は時間通りに離陸した)。②は get on、③は get off、④は leave などが使われます。

◆補足：「離陸する」という意味の反対は land (着陸する) です。一つの熟語が複数の意味を持つことはよくあるので、文脈からどちらの意味かを判断する練習が大切です。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「～する時間です」です。it is time to do は、何かをするべき時刻になったことを伝えるための定番の表現です。主語の it は特に意味を持たない形式的な主語です。It is time to start our class. (授業を始める時間です) のように使います。②は it is necessary to do、③は it is easy to do、④は I like to do などが適切な表現です。

◆補足：It is time for 名詞という形で「～の時間です」と表現することもできます。例えば、It's time for lunch. (昼食の時間です) のように使います。後ろに to + 動詞が来るか、for + 名詞が来るか、という形の使い分けに注意しましょう。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②「ついに、とうとう」です。finally は、長い時間がかかったり、多くの困難があったりした末に、「ようやく、ついに」物事が実現した、というニュアンスで使われる副詞です。After three hours, we finally reached the top of the mountain. (3 時間後、私たちはついに山の頂上に着いた) のように使います。①「最初に」は first、③「最近」は recently や lately、④「ほとんど」は almost です。

◆補足：finally と似た表現に at last があります。どちらも「ついに」と訳せますが、at last の方が、待ち望んでいた気持ちや、それまでの苦勞がより強く感じられることがあります。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②の textbook で、学校の授業などで勉強するために使われる「教科書、教本」を意味します。text (本文) と book (本) が組み合わさった単語です。Please open your textbook to page 20. (教科書の 20 ページを開いてください) のように使います。他の選択肢は、①notebook が(書き込むための)「ノート」、③comic book が「漫画本」、④guidebook が「旅行案内書」です。

◆補足：textbook は、比喩的に「お手本、典型」という意味で使われることもあります。His life is a textbook case of success. (彼の人生は成功の典型的なケースだ) のように使われますが、まずは基本的な「教科書」の意味を覚えましょう。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「強い、じょうぶな」です。形容詞で、This box is strong enough to sit on. (この箱は座れるくらいじょうぶだ) のように使います。②「弱い」は weak で、strong の反対語です。③「長い」は long、④「重い」は heavy です。

◆補足：strong は、コーヒーの味が「濃い」、風が「強い」、意志が「固い」など、比喩的にも広く使われます。She has a strong will. (彼女は強い意志を持っている)。名詞形は strength (強さ) です。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「カフェ、喫茶店」です。フランス語から来た言葉で、日本語の「カフェ」とほぼ同じように使えます。We had a chat in a cozy café. (私たちは居心地の良いカフェでおしゃべりをした) のように使います。①「食堂」は cafeteria、②「料理店」は restaurant、③「図書館」は library です。

◆補足：café の e の上には、é のようにアクセント記号が付くことがありますが、付けなくても間違いではありません。coffee (コーヒー) と同じ語源を持つ単語です。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「まじめな、深刻な」です。serious は、人の態度が「本気である、まじめである」ことや、問題や病気などが「深刻である、重大である」ことの、二つの主な意味合いで使われる形容詞です。This is a serious matter. (これは深刻な問題です) のように使います。②「静かな」は quiet、③「親切な」は kind、④「賢い」は wise や smart です。

◆補足：会話の中で相手に Are you serious? と尋ねると、「本気で言ってるの?」「うそでしょ?」といった、驚きや疑いを表す決まり文句になります。映画やドラマでもよく聞くフレーズですよ。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②「厚い」です。thick は、本の厚さや板の厚み、木の幹の太さなどを表す形容詞です。I need a thick coat for the winter. (冬のために厚いコートが必要です) のように使います。①「薄い」は thin で、thick の正反対の言葉です。③「硬い」は hard、④「重い」は heavy がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：thick は、霧や森などが「濃い、密集した」様子を表すのにも使われます。We couldn't see anything in the thick fog. (私たちは濃い霧の中で何も見えなかった)。また、液体が「どろっとした」状態を表すこともあります。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②の glove で、「手袋」を意味します。特に、指が一本一本分かれているタイプのものを指します。野球の「グローブ」もこの glove ですね。他の選択肢は、①sock が「靴下」、③scarf が「スカーフ、マフラー」、④hat が「帽子」と、それぞれ別の服飾品を指します。

◆補足：手袋はふつう両手にはめるので、a pair of gloves (一組の手袋) と言ったり、複数形の gloves の形で使われたりすることがほとんどです。I bought new gloves for skiing. (私はスキー用に新しい手袋を買った)。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①の rise で、「昇る、上がる」という意味の動詞です。太陽や月が昇ることや、物価・温度などが上昇することを表します。The sun rises in the east. (太陽は東から昇る) は基本的な文ですね。他の選択肢を見てみましょう。②raise も「上げる」という意味ですが、raise your hand (手を上げる) のように目的語を必要とする他動詞です。③fall は「落ちる」、④sit は「座る」という意味です。

◆補足：rise は不規則動詞で、rise - rose - risen と活用します。過去のことを言うときは The sun rose at six. (太陽は6時に昇った) のように rose を使うので、注意しましょう。

12.

解答 ④

【解説】

正解は④「棒、さお、柱」です。pole は、地面に立てたり、何かを支えたりする、長くてまっすぐな棒状のものを指します。旗を掲げるための flag pole (旗ざお) や、電線を支える telephone pole (電柱) などが身近な例です。①「板」は board、②「管」は pipe、③「網」は net がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：pole には、全く違う意味として「(地球や磁石の) 極」もあります。the North Pole (北極) や the South Pole (南極) のように使われます。このように、一つの単語が複数の意味を持つことは多いので、文脈で判断する力を養いましょう。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①「～と同じである」です。Your bag is the same as mine. (あなたのバッグは私のと同じです) のように、「…と (同じ)」と言いたいときには相対的に as を使います。②「～と異なっている」は be different from ～、③「～に似ている」は be similar to ～、④「～より優れている」は be better than ～がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：the same だけでも「同じこと、同じもの」という意味で使うことができます。レストランで、前の人と同じものを注文したい時に I'll have the same. (同じものをください) と言うことができます。とても便利な表現ですね。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の chest で、「胸、胸部」を意味します。首からお腹までの、体の前面部分を指します。He has a broad chest. (彼は胸板が厚い) のように使います。他の選択肢は、①stomach が「胃、腹部」、③back が「背中」、④neck が「首」と、それぞれ体の異なる部位を表す単語です。

◆補足：chest には、衣類や物をしまっておく、ふた付きの大きな「箱」という意味もあります。物語に出てくる「宝箱」は treasure chest と表現されます。文脈によってどちらの意味かを判断しましょう。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④の back で、体の部分としての「背中」や、物の「後ろ、裏側」を意味する名詞です。I have a pain in my back. (背中が痛い) のように使います。他の選択肢は、①face が「顔」、②hand が「手」、③foot が「足」と、それぞれ体の異なる部位を指します。

◆補足：back は「後ろへ」という意味の副詞としても非常によく使われます。go back (戻る)、look back (振り返る) など、多くの動詞と組み合わせる重要な熟語を作ります。名詞と副詞、両方の使い方に慣れておきましょう。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「1日に1回」です。once が「1回」、a day が「1日につき」を意味します。I walk my dog once a day. (私は1日に1回、犬の散歩をします) のように使います。②「毎日」は every day、③「1日中」は all day、④「ある日」は過去や未来の不特定の日を指す one day です。これらの表現は意味が似ているので、混同しないように注意しましょう。

◆補足：once (1回) の部分を twice (2回) や three times (3回) に、day の部分を week (週)、month (月)、year (年) に変えることで、様々な頻度を表現できます。例えば、twice a week (週に2回) や three times a month (月に3回) などです。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「実は、実際に」です。actually は、相手が考えていることとは違う事実を伝えたり、予想外の情報を付け加えたりする際に使われる副詞です。I thought the test was easy, but actually it was very difficult. (私はそのテストは簡単だと思ったが、実はとても難しかった) のように使います。②「いつも」は always、③「時々」は sometimes、④「絶対に」は definitely などが適切な単語です。

◆補足：actually と似た表現に in fact があります。どちらも「実は」と訳せますが、actually のほうがより口語的で、会話の中で頻繁に使われる傾向があります。形容詞形は actual (実際の) です。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②「土台、基礎、基地」です。base は、建物の下部を支える「土台」や、考え方の「基礎」、そして軍隊や探検隊などの活動の拠点となる「基地」など、様々なものの根本となる部分を指します。③「中心」は center、①「てっぺん」は top、④「側面」は side です。

◆補足：野球で使われる「ベース (塁)」もこの base です。first base (一塁) や home base (本塁) のように使いますね。また、be based on ~ という形で「～に基づいている」という意味の重要な熟語としても使われます。This movie is based on a true story. (この映画は実話に基づいています)。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③の in this way です。He became a famous singer in this way. (彼はこのようにして有名な歌手になった) のように、前の文で述べた内容を指して使うことが多いです。①by the way は「ところで」と話題を変える時、②on the way は「途中で」、④all the way は「はるばる、ずっと」という意味で、それぞれ way を使った重要な熟語ですが意味が異なります。

◆補足：this を that に変えて in that way とすると、「そのようにして、その方法で」と、少し離れた事柄や相手が述べた方法を指すことができます。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「～で満たされている」です。be filled with ～は、容器や場所が物や人でいっぱいになっている状態を表します。動詞 fill（～を満たす）が受け身の形で使われています。Her eyes were filled with tears.（彼女の目は涙でいっぱいだった）のように使います。②は be made of/from ～、③は be covered with ～、④は be known for ～がそれぞれ近い表現です。

◆補足：この表現は、be full of ～とほぼ同じ意味で、書き換えが可能です。例えば、The box is filled with apples. と The box is full of apples. はどちらも「その箱はリンゴでいっぱいです」という意味になります。両方とも重要な表現なので、セットで覚えておきましょう。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①の mountain です。日本で最も有名な mountain は富士山（Mt. Fuji）ですね。他の選択肢は、②river が「川」、③lake が「湖」、④sea が「海」と、それぞれ異なる自然の地形を指す言葉です。地理に関する基本的な単語として、まとめて覚えておくと良いでしょう。

◆補足：mountain よりも標高が低く、なだらかな「丘」や「小山」は、次の問題で出てくる hill と言います。厳密な区別はありませんが、mountain の方がより高く険しいイメージです。山の連なりである「山脈」は a mountain range と表現します。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②の cell phone で、「携帯電話」を意味する最も一般的な表現です。特にアメリカ英語でよく使われます。他の選択肢を見てみましょう。①telephone は固定電話も含めた「電話」全般を指します。③smart phone は高機能な「スマートフォン」で、cell phone の一種です。④mobile phone も「携帯電話」を意味しますが、こちらは主にイギリス英語で使われる表現です。

◆補足：cell には「細胞」という意味の他に、携帯電話の通信網を構成する「基地局のエリア」という意味があります。cell phone という名前は、この通信の仕組みに由来しています。

23.

解答 ③

【解説】

正解は③「日の出」です。sunrise は、sun（太陽）と rise（昇ること）が組み合わさってできた単語で、文字通り太陽が昇る時間やその光景を指します。I got up early to see the sunrise.（私は日の出を見るために早起きした）のように使います。①「日の入り」は sunset で、sunrise の反対の言葉です。②「正午」は noon、④「真夜中」は midnight です。

◆補足：sunrise（日の出）と sunset（日の入り）は、ぜひセットで覚えておきましょう。set には「沈む」という意味があります。The sun rises in the east and sets in the west.（太陽は東から昇り、西に沈む）という文は、理科の知識としても英語の知識としても重要です。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「穴」です。The mouse ran into a hole in the wall.（そのネズミは壁の穴に走り込んだ）のように使います。①「点」は dot や point、②「線」は line、④「角」は corner がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：hole と whole（全体の）は、発音が全く同じでスペルが似ているため、混同しやすい単語です。I ate the whole pizza.（私はピザを全部食べた）。文脈でどちらの意味かを判断することが大切になります。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②「型、タイプ、種類」です。type は、共通の特徴を持つもののグループや分類を指す名詞です。What's your blood type?（あなたの血液型は何ですか？）のように使います。①「題名」は title、③「文章」は text や sentence、④「文字」は character や letter がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：動詞としての type は、「（キーボードなどで）文字を打つ」という意味になります。She can type 50 words a minute.（彼女は1分間に50語タイプできます）。このように、名詞と動詞で意味が大きく異なる単語は、文の中での使われ方に注意することが大切です。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③「健康」です。Good health is more important than money. (健康はお金より大切だ) のように使います。①「病気」は sickness や illness、②「運動」は exercise、④「食事」は meal や diet が適切な単語です。

◆補足：health の形容詞形は healthy (健康な、健康によい) です。Eating a balanced diet is healthy. (バランスの取れた食事をすることは健康的だ)。名詞の health と形容詞の healthy の使い分けをしっかりマスターしましょう。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を解決する、解く」です。She was able to solve the difficult puzzle. (彼女はその難しいパズルを解くことができた) のように使います。②「～を尋ねる」は ask、③「～を説明する」は explain、④「～を証明する」は prove です。

◆補足：solve の名詞形は solution (解決策、解答) です。There is no easy solution to this problem. (この問題に簡単な解決策はない)。動詞と名詞をセットで覚えることは、語彙力を高めるのに非常に効果的です。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「～と異なっている、～と違う」です。be different from ～は、二つの物事を比較して、違いがあることを述べるための基本的な表現です。Japanese culture is very different from American culture. (日本の文化はアメリカの文化と大きく異なっている) のように使います。①は be similar to ～、②は come from ～、③「～と同じである」は be the same as ～です。

◆補足：different の名詞形は difference (違い、相違点) です。形容詞と名詞をセットで覚えるのは語彙を増やす良い方法です。また、アメリカ英語では different than、イギリス英語では different to が使われることもありますが、最も一般的に使われるのは different from です。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「薬を飲む」です。take (a) medicine は、「薬を服用する」という意味で使われる決まった言い方です。日本語では「飲む」と言うので drink を使いそうになりますが、英語では take を使うのが一般的です。You need to take this medicine three times a day. (あなたはこの薬を1日に3回飲む必要があります) のように使います。

◆補足：take は「(体の中に) 取り込む」という広い意味を持っています。そのため、薬だけでなく take a pill (錠剤を飲む) や take vitamins (ビタミン剤を飲む)、take a deep breath (深呼吸をする) のように、様々な場面で使われます。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③の **bake** で、オーブンを使ってパンやケーキ、クッキーなどを「焼く」ことを意味する動詞です。他の選択肢は、①**boil** が「～をゆでる」、②**fry** が「～を油で炒める・揚げる」、④**burn** が「～を焦がす」で、それぞれ異なる調理法です。料理に関する動詞は、具体的なイメージと結びつけて覚えましょう。

◆補足：パンを焼く人は **baker**、パン屋さんは **bakery** です。**bake** という単語を中心に、**baker**、**bakery** と関連語を広げていくと、効率よく単語を覚えられますね。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②「規則的な、ふつうの」です。**regular** は、決まったパターンや間隔で繰り返されること、または特別ではなく標準的であることを表す形容詞です。Taking regular exercise is important. (規則的な運動をすることは重要です) のように使います。①「特別な」は **special**、③「不規則な」は **irregular** で、**regular** の反対語です。④「人気のある」は **popular** です。

◆補足：副詞形の **regularly** は「規則的に、定期的に」という意味で非常によく使われます。You should brush your teeth regularly. (あなたは定期的に歯を磨くべきです)。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④の **energy** で、「エネルギー、活力、元気」を意味します。After a good sleep, I'm full of energy. (よく眠ったので、元気いっぱいです) のように使います。①**power** は「力、能力、電力」、②**force** は「(物理的な) 力」、③**feeling** は「感情」という意味です。

◆補足：**energy** の形容詞形は **energetic** (エネルギッシュな、精力的な) です。He is an energetic person. (彼はエネルギッシュな人だ)。また、環境問題に関連して **solar energy** (太陽エネルギー) や **energy saving** (省エネ) といった言葉もよく使われます。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③の **bitter** で、「(味が) 苦い」という意味の形容詞です。I don't like bitter coffee. (私は苦いコーヒーが好きではありません) のように使います。他の選択肢は、①**better** (より良い)、②**butter** (バター)、④**bottle** (びん) と、つづりや発音が少し似ていますが、意味は全く異なります。

◆補足：**bitter** は味だけでなく、経験や感情が「つらい、痛ましい」ことや、寒さが「厳しい」ことを表すのにも使われます。例えば、a bitter memory (つらい記憶) や a bitter wind (身を切るような冷たい風) のように、比喩的に使われることも多いです。

34.

解答 ③

【解説】

正解は③の **protect** で、「～を守る、保護する」という意味の動詞です。This cream protects your skin from the sun. (このクリームはあなたの肌を太陽から守ります) のように使います。①**prevent** は「～を防ぐ」、②**provide** は「～を供給する」、④**promise** は「～を約束する」という意味です。

◆補足：**protect** の名詞形は **protection** (保護) です。for your protection (安全のために) のような形で注意書きなどで見かけることがあります。動詞と名詞をセットで覚えるように心がけましょう。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③の **thin** で、「薄い、細い、やせた」という意味の形容詞です。前の問題の **thick** (厚い) の反対の言葉ですね。紙や布が薄いこと、線が細いこと、人がやせていることなどを表します。①**thick** は「厚い」、②**small** は「小さい」、④**light** は「軽い」という意味です。

◆補足：人の体型について **thin** を使うときは、少し注意が必要です。単に事実として「やせている」ことを述べますが、文脈によっては「やせすぎている」というネガティブなニュアンスで伝わる場合があります。「スタイルが良い」という肯定的な意味では **slim** という単語がよく使われます。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②の **cafeteria** で、「(セルフサービスの) 食堂」を意味します。学校、会社、病院などにある、利用者が自分で食事をトレイに取って運ぶ形式の食堂を指します。I often eat lunch at the school

cafeteria. (私はたいてい学生食堂で昼食をとります) のように使います。①kitchen は「台所」、③restaurant は店員が注文を取りに来てくれる「レストラン」、④café は「喫茶店」です。

◆補足：cafeteria と café は似ていますが、cafeteria は主に食事をする場所、café は主にお茶やコーヒーを楽しむ場所、という違いがあります。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を選ぶ」です。You have to choose between these two. (あなたはこの2つのうちから選ばなければなりません) のように使います。①「～を変える」は change、③「～を閉じる」は close、④「～をきれいにする」は clean です。

◆補足：choose は不規則動詞で、choose - chose - chosen と活用します。過去形は chose、過去分詞は chosen です。発音も変わるので注意しましょう。I chose this dress. (私はこのドレスを選んだ)。名詞形は choice (選択) です。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④「スマートフォン」です。smart (賢い) と phone (電話) が組み合わさった言葉ですね。①「固定電話」は landline phone、②「公衆電話」は public phone、③「携帯電話」は cell phone が一般的な言い方です。

◆補足：smart phone とスペースを空けて書くこともあります。現代では cell phone (携帯電話) と言うと、この smartphone を指していることがほとんどですね。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④の British で、「イギリスの」または「イギリス人」を意味する形容詞・名詞です。The British Museum is very famous. (大英博物館はとても有名です) のように使います。①English は主に「イングランドの」や「英語」を指し、British よりも狭い範囲を表します。②American は「アメリカの」、③French は「フランスの」です。

◆補足：the を付けて the British とすると、「イギリス国民」全体を表します。また、イギリスで話されている英語は British English と呼ばれ、アメリカ英語 (American English) とは単語や発音にいくつか違いがあります。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②の **it takes A to do** で、「～するのに A（時間）がかかる」と、ある行動に必要な時間を説明する構文です。主語の **it** は時間などを表す形式的な主語で、特に訳しません。A の部分には **two hours**（2 時間）や **a long time**（長い時間）などの時間が入ります。**It takes ten minutes to walk to the station.**（駅まで歩いて 10 分かかります）のように使います。①は費用、③は難易度、④は必要性を表す文です。

◆補足：A の部分に人を表す言葉を入れることもできます。**It takes me an hour to finish my homework.**（私が宿題を終えるのに 1 時間かかる）のように、**takes** の直後に **me** や **him**などを置くことで、「誰が」その時間を要するのかを明確にできます。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④の **taste** です。**This apple pie tastes delicious.**（このアップルパイはおいしい）のように使います。他の選択肢は、①**touch** が「～に触れる」、②**test** が「～を試験する」、③**toast** が「（パンなど）を焼く」という意味です。

◆補足：**taste** は「～の味をみる、試食する」という能動的な意味でも使われます。**Could I taste the soup?**（スープの味を見てもいいですか？）。また、名詞として「味、好み」という意味もあります。**This fruit has a strange taste.**（この果物は変な味がする）。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②の **rock** で、大きくて動かせないような「岩、岩石」を指します。**stone** も「石」と訳しますが、こちらは手で持てるくらいの、比較的小さな石を指すことが多いです。**The house was built on a huge rock.**（その家は巨大な岩の上に建てられた）のように使います。①**sand** は「砂」、③**soil** は「土、土壌」です。

◆補足：音楽のジャンルである「ロック」も **rock** ですが、これは **rock and roll**（揺れて転がる）という言葉から来ています。また、動詞としては「～を揺らす」という意味があります。**Don't rock the boat.**（ボートを揺らすな）。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③「インターネット」です。**Internet** は、世界中のコンピュータネットワークを相互に接続した巨大な情報通信網を指す固有名詞です。そのため、通常は文頭でなくても **I** を大文字で書きます。

①computer、②website、④e-mail はいずれもインターネットに関連する言葉ですが、インターネットそのものではありません。

◆補足：「インターネットで」何かをすることを表すときは、前置詞の **on** を使います。You can buy almost anything on the Internet. (インターネットではほとんど何でも買うことができる)。surf the Internet (インターネットを見て回る) という表現もよく使われます。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①「～のおかげで」です。thanks to ～は、人や物事が良い結果の原因となったことを、感謝の気持ちを込めて表す表現です。Thanks to you, our team won the game. (あなたのおかげで、私たちのチームは試合に勝った) のように使います。②は in spite of ～、③は instead of ～、④は in addition to ～がそれぞれ近い意味を持つ表現です。

◆補足：thanks to は、皮肉の意味を込めて「～のせいで」と悪い結果について使われることも稀にありますが、基本的にはポジティブな文脈で使われると覚えておきましょう。Thank you for ～ (～してくれてありがとう) と混同しないように注意しましょう。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「電子書籍」です。e-book は electronic book の略で、スマートフォンやタブレット、専用のリーダーなどで読むデジタル形式の本のことです。E-books are convenient because you can carry many of them on one device. (電子書籍は一つの端末でたくさん持ち運べるので便利です) のように使います。①「絵本」は picture book、②「交換日記」は exchange diary、③「教科書」は textbook です。

◆補足：e- は electronic (電子の) の略で、e-mail (電子メール) が最もよく知られていますね。他にも e-commerce (電子商取引) や e-money (電子マネー) など、様々な言葉で使われています。

46.

解答 ②

【解説】

正解は②「～でいっぱいである」です。The park was full of people. (その公園は人でいっぱいだった) のように使います。①は be famous for ～、③は be interested in ～、④は be satisfied with ～がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：full は「いっぱいの」という意味の形容詞で、その反対は empty (空の) です。a full bottle (中身が一杯いの瓶) と an empty bottle (空の瓶) のように、対義語をセットで覚えるのは効果的な学習法です。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「イギリス」です。UK は the United Kingdom の略称です。United は「連合した」、Kingdom は「王国」を意味し、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの4つの国から成る連合国家であることを示しています。①「アメリカ合衆国」は the USA、③「アラブ首長国連邦」は the UAE と略されます。④Australia は略称ではありません。

◆補足：イギリスを指す言葉は他にもあり、Great Britain や単に Britain と呼ばれることもあります。首都はロンドン (London) です。世界の主要な国の英語名と、その略称を知っておくとニュースなどを理解するのに役立ちます。

48.

解答 ①

【解説】

正解は①「～で覆われている」です。The mountains are covered with snow in winter. (冬にはその山々は雪で覆われる) のように使います。②は be filled with ～、③は be made from/of ～、④は be known for ～がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：この表現は、前の問題の動詞 cover (～を覆う) の受け身の形です。Snow covers the mountains. (雪が山々を覆う) という文を、山を主語にして言い換えたものが The mountains are covered with snow. となります。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「凍った、冷凍された」という意味の形容詞です。スーパーマーケットの「冷凍食品」は frozen food と言いますね。②「壊れた」は broken、③「燃えた」は burnt、④「ぬれた」は wet がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：frozen は、動詞 freeze（凍る）の過去分詞形です。活用は freeze - froze - frozen と不規則に変化します。大ヒットしたディズニー映画の原題が『Frozen』だったことで、この単語が身近になった人も多いのではないのでしょうか。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②の body です。他の選択肢を見てみましょう。①mind は「心、精神」、③heart は「心臓」や「心」、④health は「健康」を意味します。body and mind（心身）のように、body（肉体）と mind（精神）は対で使われることが多いです。

◆補足：somebody（誰か）や everybody（みんな）、nobody（誰も～ない）といった単語は、some/every/no と body が組み合わさってできています。このことから、body が「人」を表す基本的な要素であることがわかりますね。
